

帝国書院『社会科 中学生の公民』 特色一覧

①教育基本法との対応



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
全体	<p>問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ●章・節・各本文ページ冒頭には、学習内容を問い(「章・節の問い」「学習課題」)で示し、生徒自らが学習の見通しを持てるようにしている。章・節・各本文ページの末尾には課題(「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」)を設けている。問いには、協働的に学習する場面を設け、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしている。 ●学習活動では、3つの資質・能力を特に育成する場面を設けることで、学習を見取ることができ、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できるようにしている。 	おもに 特色3 p.19-32
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<p>理解しやすい本文と豊富な具体事例とビジュアル資料、大判イラストにより、意欲的に学びに向かう態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●章の冒頭に、大きなイラストから単元の学習の全体像を概観する特設「学習の前に」を設けている(全5か所)。イラストを読み解く活動を通じて、単元の学習内容と生活経験・既習事項を結び付けることで、学びに向かう意欲を喚起できる。(p.2-3、30-31、74-75、116-117、182-183) ●各本文ページの導入資料(紙面の左上側)においても、同様の趣旨で、学習と直結する実社会の事象を、躍動感ある写真・図版とともに取り上げている。(p.106、136、146など) ●本文は、具体的に例示したり、社会的な事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど丁寧でわかりやすくし、幅広い知識と教養を無理なく身に付けられるようにしている。(全編) 	おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-18
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<p>「現代社会の見方・考え方」を働かせて思考力・判断力を養う活動を通じて、自主・自律の精神をもって創造に取り組む資質を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「技能をみがく」コーナーでは、ロールプレイングやディベート、ディスカッションなどのスキルを扱い、主体的な取り組みを促すことによって自主・自律の精神を養える。(p.23、65など全6カ所) ●本文ページ中の各種写真・統計類において「資料活用」の問いを設けており、習得した技能を、生徒自身が日頃からみがいていけるようにしている。(全編) ●18歳までに習得したい実践的な知識を学ぶ、「18歳への準備」コーナーを3か所設け、知識・技能を実社会に即した形で身に付け、未来に生かせるようにしている。(p.84-85、128-129、154-155) ●第2部第1章では、「学習の前に」から「学習を振り返ろう」までの一連の学習の流れを通じて、「現代社会の見方・考え方」の一つである「法の支配」に、無理なく着目することができるように配列を工夫している。 ●インクルーシブ教育に配慮し、誰でも読み取りやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)や色調を導入することで、さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにしている。(全編) ●QRコンテンツを随所に設置することで、授業以外においても生徒が自主的に活用できるよう配慮している。(巻頭6など全45か所) 	おもに 特色3 p.19-32 特色5 p.37-40 および p.45-48
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<p>合意形成に向けた議論を行う活動の充実により、社会参画に向けた態度と資質を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パフォーマンス課題を設定したアクティブ・ラーニング型の授業を行える「アクティブ公民」を、特設ページとして10か所、コラムとして33か所設けている。さまざまな立場を踏まえて議論を進めることにより、合意形成を促し、実社会に見られる課題の解決に向けた選択・判断に取り組む活動も行える。(特設ページ:p.22-23、42-43、64-65、98-99、108-109、120-121、130-131、144-145、166-167、208-209/コラム:p.39、81、133など全33か所) ●各章の末尾の「学習を振り返ろう」の「探究学習への準備」ページでは、他の生徒が提示した視点を取り入れて、自分自身の思考を多角化するプロセスに重点を置いており、協働の意義を実感できる。(p.26、72、112、176、212) 	おもに 特色3 p.19-32

帝国書院『社会科 中学生の公民』 特色一覧

①教育基本法との対応



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※ (青字) は教科書のページ	内容解説資料での特色と掲載ページ
<p>第四号</p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>人権や環境・エネルギー、防災といった現代社会の課題を豊富に掲載し、持続可能な開発目標（SDGs）の意義への理解を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「未来に向けて」コーナーでは、人権の尊重や環境保全、防災といった現代社会の課題を積極的に取り上げている。(p. 7、51、137など全26か所) ●第4部第1章第2節は、SDGsの17の目標を意識した配列構成にすることで、SDGsの視点を無理なく学習に結びつけることができる。(p. 192-207) また、「アクティブ公民」では、将来の日本の電源構成案を考える活動を通して、持続可能な社会の形成に向けて、具体的に考えを深めることができる。(p. 208-209) ●第5部第1章は、持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題を探究することによって、中学校3年間の社会科の総まとめができるようになっている。(p. 215-223) 	<p>おもに 特色4 p. 33-36</p>
<p>第五号</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>紛争と平和構築の内容の充実により、国際社会の平和と発展に寄与する理解を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第4部第1章第1節の本文では、国旗・国歌や領土についての解説を重点的に行っている。領土については、国際法に則った日本政府の立場や解決に向けた取り組みを、丁寧に説明している。(p. 184-187) ●第4部第1章第2節の本文では、ロシアによるウクライナ侵攻をいち早く反映し、紛争の背景と平和構築への課題について丁寧に説明している。また、国際社会の平和の実現に向けた日本の貢献も紹介している。(p. 192-193、p. 206-207) ●第1部第1章第2節の本文では、琉球文化やアイヌ文化といった多様な文化にもふれながら、日本の伝統文化とその継承についての解説を丁寧にしている。(p. 12-15、28) 	<p>おもに 特色4 p. 33-36</p>